



けやけき木

令和2年8月25日 第24号



8月21日 夏休み期間中の授業日、後半が始まりました

夏休みは、どのようにお過ごしでしたか。コロナ禍ではありつつも、用心を重ね、各ご家庭なりに工夫を凝らした時間をお過ごしだったのでしょうか。「新しい日常」となって初めての夏休みが終わり、後半が始まりました。

夏休み期間中に感染せずに過ごすことができたかどうかは、感染後2週間後の発症と考えれば、8月下旬から9月上旬に答え合わせができることとなります。目に見えないウイルスです。どれだけ備えていても、誰もが感染する可能性があります。悪事を働いた人が感染するわけでは決してありません。報道されているような感染者への誹謗中傷は、人権を侵害する行いです。ご家庭においてもお話しください。

なお、感染が疑われる症状が出た場合は、速やかにセンターへご連絡ください。そして、感染が確認されたら、学校にもご連絡ください。児童・教職員の感染が判明した場合、原則休校となります。休校措置をとることになった場合は、メルマガ等でお知らせします。その場合は、急な休校のお知らせとなりますが、ご協力をお願いします。(休校措置中、市・学校教職員による消毒作業を行った後、学校を再開します。現在は、3日ほどの休校が一般的です。※感染の状況によって変わります。)

4年生理科の授業風景 →



YOU&I インフォメーション



◆衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」の改訂◆

より具体的な事項について学校の参考となるよう文科省が作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が、8月6日付で改訂されました。以下、改訂内容(含追記内容)の一部を紹介します。(学校は本改定マニュアルに沿った対応を講じます。)

- 小学生の感染経路は、「家庭内感染」が70%を占める。「校内感染」は報告されていない。(7月31日現在)
- ※ 本マニュアルに従って対策を行っていた場合は、感染リスクを下げられる。(文科省分析)
- 学校生活の中で消毒によりウイルスをすべて死滅させることは困難。一時的な消毒の効果を期待するよりも、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童生徒等の免疫力を高め、手洗いを徹底することの方が重要。大勢がよく触れる箇所は1日1回の消毒を。
- 免疫力を高めるため、「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスの取れた食事」を心がけるよう指導する。
- 様々な状況証拠から「3密」と「大声」の環境においては、「飛沫感染」や「接触感染」に加えて、「マイクロ飛沫感染」が起りやすいものと考えられている。 <裏面に続く>

○ 身体的距離が十分とれないときはマスクを着用すべきと考えられるが、気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、マスクを外す。熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させること。

◆お願い◆ ※見守り隊の方からの報告を受けて

夏休み前、水筒を持っていなかった児童が下校時、道ばたでうすくまっていたため、自販機でお茶を購入し飲ませた、との報告を受けました。十分な量のお茶を入れた水筒を忘れずに持たせてください。※下校時、水筒が空の子には、直接飲める水を入れて帰るよう指導します。

Looking back for けやきっ子

（1学期の反省・2学期に向けて）

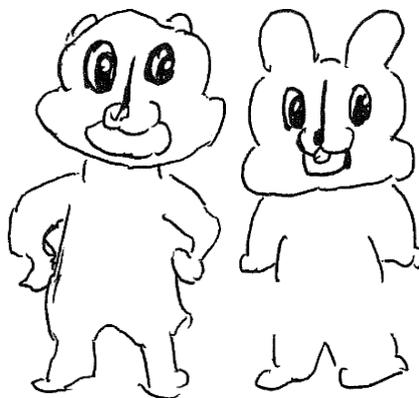
東 純矢： 1学期はコロナウイルスの関係で休校があり、学校再開後、子どもたちが軌道に乗るまでに時間がかかったように思う。しかし、子どもたち一人一人がやるべきことを理解し、切り替えができるようになってきたと思える。友だちの「よいところ見つけ」も、帰りの会で多くの子が手を挙げるようになってきた。お互いに認め合うことができる温かいクラスになってきている。個別の対応が必要な場合もあるので、個々に時間を上手に見つけながら支援をしていけるように、授業内容や時間の使い方を工夫していきたい。

石川(教頭)： いろいろな子に対し上手に言葉がけしてくれました。個への対応については他の先生方との情報交換や連携を密にしていきたいと思います。



Tōzai Art Gallery
東西画廊

<解説> これは、水野先生が描いた作品です。研修で愛知県教育委員会が作成している「キャリア教育ノート」とそこに使われているキャラクターの紹介があり、その場でスケッチしたそうです。個性の強さが光る作品です。



↑これが現物

ココン東西

Tシャツを買いに行ったらやたらと大きくて驚いた。いつものMを探したら、どう見てもLL位の大きさ。若い衆に話を聞くと、オーバーサイズといって、大きいのを着るのが流行らしい▼ファッションの世界で言う「今年の流行」は、みんながなんとなく同じようなモノを好むことから生まれるのではなく、誰かが決めていると聞いたことがある。なんじゃそりや、って話だ。それを知り、流行のモノはできるだけ着たくないと思うようになった。世の中（商業主義）に流されている感が嫌だ。我が道を行く感じで服も選びたい。だから「何より自分が面白と思うことをやる」と考えた山本寛斎さんの服なら着てみたいかな▼

なんだかんだ御託を並べたが、結局流行のオーバーサイズのTシャツを買った。流行モノは安く手に入る。おしゃれだの独自のセンスだのが懐具合より優先されることはないのだ。

「学校だより」のカラー版は、本校ホームページでご覧いただけます。